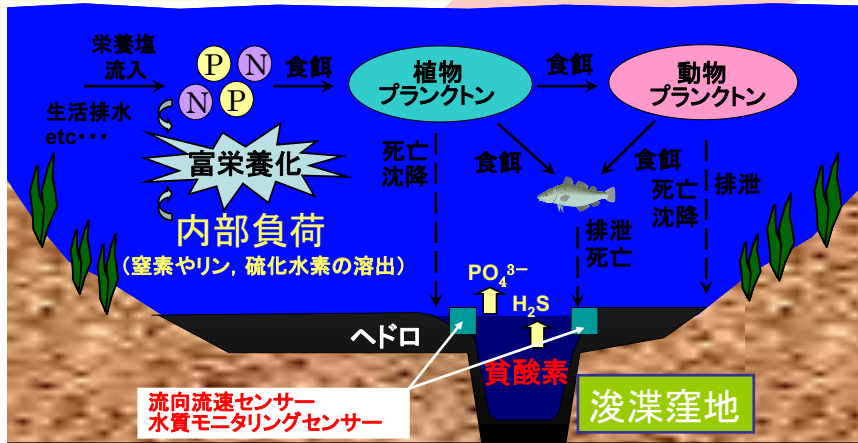


# 浚渫窪地埋め戻し資材としての産業副産物の活用

## — 住民合意を目指した安全性評価に関する研究 —

### ■ 中海浚渫窪地の現状調査研究

窪地に堆積した有機物は、溶存酸素を消費して生物の生息場所を消失させ、窒素やリンなどの栄養塩類の内部負荷源となり、硫化水素の発生源にもなっている。窪地近傍の水質特性と窪地の形状・窪地堆積物の状況を詳細に調査することにより、窪地が水環境に及ぼす影響を評価する。



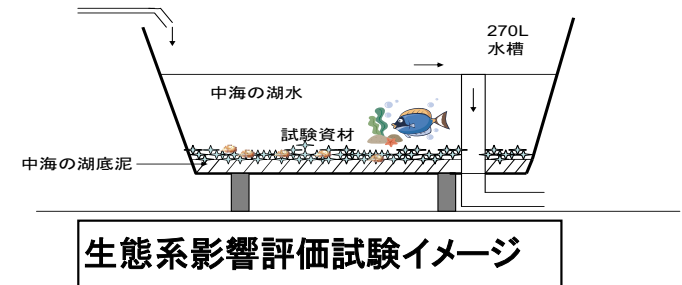
### ■ 産業副産物の埋め戻し材としての安全性評価研究

未利用資源や産業副産物等の安全性の確認試験を行う。公定法に従った溶出試験をパスした資材について、地域住民の安心を得るため、生物を用いた試験（バイオアッセイ等）を行い、生態系影響評価試験を合わせて実施する。

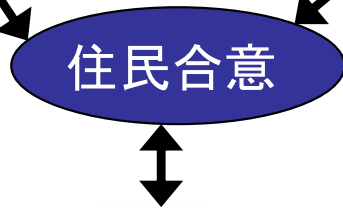
評価項目: 1) 一次生産

2) 群集遷移

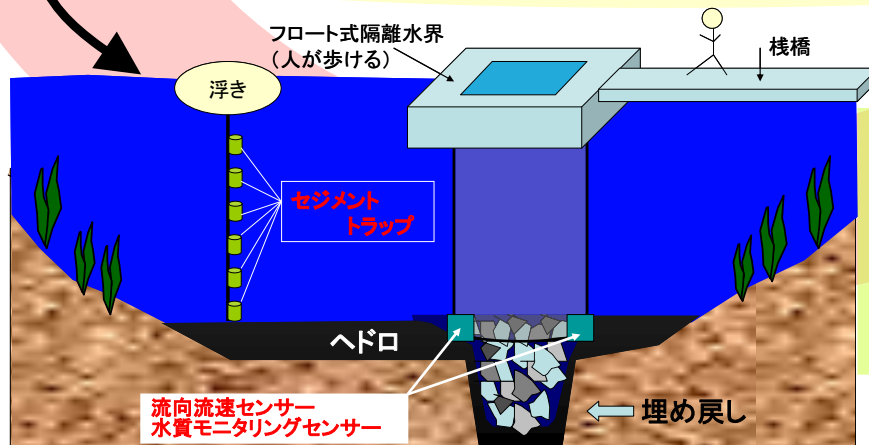
3) 生物濃縮



住民への情報公開を通し、住民合意を目指す。



### ■ 埋め戻し工法と埋め戻しに伴う環境影響評価



安全性が確認された産業副産物を用いて浚渫窪地を埋め戻し（覆砂し）、窪地の環境改善を図る。埋め戻しによるヘドロの巻き上がりの程度と、周辺への水質への影響を評価する。また覆砂効果の票個を行うと共に、重金属などの溶出の有無について調べる。